

長浜城

《関ヶ原合戦図屏風》(部分) 長浜城歴史博物館蔵

大人 割引 330円



長浜市長浜城歴史博物館
Nagahama Castle History Museum



長浜城は、古くは今浜城といい、南北朝時代、足利尊氏の重臣で「バサラ大名」として有名な京極導誉の家臣今浜六郎左衛門が創築し、その後、上坂氏が守将として在城したといわれている。天正の初め、一国一城の主となった羽柴秀吉がこの地に城を築き、地名を長浜と改め、城下町を造営して約7年間居城した。天正11年(1583)4月の賤ヶ岳の戦いには、ここを根拠地として大勝し、威名を天下にとどろかせた。

天正13年から同18年まで山内一豊が在城、慶長11年(1606)、内藤信成が入城し、その子信正が元和元年(1615)摂津の高槻城に移ってからは廃城となり、建築物および石垣の大半は彦根城に移された。市内大通寺の台所門、知善院の表門、彦根城天秤櫓は、長浜城の遺構と伝えられる。

現在の長浜城は昭和58年(1983)に再興された天守閣である。

長浜市 長浜城歴史博物館

Nagahama Castle History Museum

〒526-0065 滋賀県長浜市公園町10番10号
TEL.0749-63-4611 FAX.0749-63-4613

開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日 年末年始を除き、年中無休
(展示替え等による臨時休館、一部閉室あり)

